

請求記号	タイトル	著者	出版社
007.64/3	高校生からはじめるプログラミング	吉村総一郎／著	KADOKAWA
159.7/7	高校生しなくてもいいこと	渡辺憲司／執筆・監修	旺文社
167/ナ	13歳からのイスラーム	長沢栄治／監修	かもがわ出版
319.8/4	池上彰の君と考える戦争のない未来	池上彰／著	理論社
366.2/ナ	会社で働く	松井大助／著	ペリかん社
366.2/ナ	経済学部	山下久猛／著	ペリかん社
366.2/ナ/156	アプリケーションエンジニアになるには	小杉真紀／著	ペリかん社
366.2/ナ/37	環境専門家になるには	小熊みどり／著	ペリかん社
366.2/ナ/61	社会福祉士・精神保健福祉士になるには	田中英樹／編著	ペリかん社
366.4/キ	将来が見えてくる!日本の給料&職業図鑑Special	給料BANK／著	宝島社
373.4/ク	奨学金まるわかり読本 2021	久米忠史／著	合同出版
375/ク	東大ノートのつくり方	QuizKnock／監修	学研プラス
376.8/オ	高校脱出マニュアル	旺文社／編	旺文社
376.8/ダ	君はどの大学を選ぶべきか 2022		大学通信
376.8/3	これからの新しい勉強法	吉川厚／監修	旺文社
377.9/シ	「とりあえず」就職するための本	しまだやすひろ／著	日本橋出版
379.7/ハ	世界一やさしい超勉強法101	原マサヒコ／著	飛鳥新社
451.85/4	図解でわかる14歳からの脱炭素社会	インフォビジュアル研究所／著	太田出版
761/ク	14歳からの新しい音楽入門	久保田慶一／著	スタイルノート
783.59/ナ	部活で差がつく!勝つバドミントン最強のコツ50	名倉康弘／監修	メイツユニバーサルコンテンツ

ティーンズコーナー

# 新着図書

2021年6月～7月受入れ分

請求記号	タイトル	著者	出版社
783.7/マ	部活で差がつく!野球ピッチング基本のテクニック	正村公弘／監修	メイツユニバーサルコンテンツ
953.7/マビ	狂女たちの舞踏会	ヴィクトリア・マズ／著	早川書房
F/アリ/3	境内ではお静かに [3]	天祢涼／著	光文社
F/オフ/6	ゴーストハント 6	小野不由美／[著]	KADOKAWA
F/オフ/7	ゴーストハント 7	小野不由美／[著]	KADOKAWA
F/カク	医学のつばさ	海堂尊／著	KADOKAWA
F/クシ	傷口はきみの姿をしている	九条時雨／著	ドワンゴ
F/ダオ	魚服記	太宰治／著	立東舎
F/ダコ	檸檬先生	珠川こおり／著	講談社
F/ダジ	刺青	谷崎潤一郎／著	立東舎
F/トシ/2	宅飲み探偵のかごんま交友録 2	富森駿／著	集英社
F/ハモ/1	拙者、妹がおりまして 1	馳月基矢／著	双葉社
F/ヒレ/27	魔導師は平凡を望む 27	広瀬煉／著	フロンティアワークス
F/ヨリ	春は馬車に乗って	横光利一／著	立東舎

# TEENS Libra

ティーンズ ライブラ 2021年秋号(No.27)

編集・発行 小牧市中央図書館

「YAライブラ」は今年度より「ティーンズライブラ」に名称変更いたします

## 僕の相棒、私の友達

～動物、ペットにまつわる本～



楽しい思い出、切ない話、飼い方の本や写真集など、ペットや動物にまつわる本の特集です。知らない動物・トレンド生き物大集合!



暦の上では秋を迎えましたが、まだまだ暑い日が続いています。今年の夏はコロナ感染症拡大のため、自粛ムードのなか、何とかオリンピックが開催されましたが、少々気の晴れない夏休みでした。それで自然とパソコン画面に向かう時間が増え「YouTube」をよく見るようになりました。そこで「もちまる日記」なる番組を見つけています。猫の「もちまる」の自由なふるまい、飼い主さんの「下僕」のユーモラスなコメントが魅力です。もちまる君と下僕さんの関係も、きつとよい相棒なのでしょう。7月にはこの番組をもとにしたフォトブック『もちまる日記』が出版されました。去る8月2日のオリコン週間BOOKSランキングでは1位になったとのニュースがありました。図書館にも所蔵がありますので、ぜひご覧ください。この「ティーンズ・ライブラ」が皆さんの読書のきっかけになればと願っています。(久)

連載コラム  
本好きさんになろう!

『アルジャーノンに花束を』

ダニエル・キイス／著  
小尾芙佐／訳  
早川書房  
(933.7/特)



32歳のチャーリーが、白ネズミのアルジャーノンを相手に迷路を解く競争をします。チャーリーは手術によりどんどん知能があがっていきます。チャーリーの日記形式で書かれていて、日を追うごとに文面にも変化し、ネズミに対する意識も変わってきます。当然、周りの反応や人間関係も変わってきます。

彼にとっての幸せとはいったい何でしょうか？

『猫町くんと猫と黒猫』 樫屋京介／著 小学館 (F/ミ)

皆さんは、「坂の町」で有名な広島県の尾道市を知っていますか？「猫の町」としても有名になりました。この本はその尾道を舞台にした小説です。主人公の光太郎は、ごく平凡な高校1年生ですが、実は化け猫の末裔で、ある時は三毛猫になったり、ある時はフツの高校生になったりできる特別な力を持っています。そんな光太郎が、人間の女の子を好きになってしまいました。人生八十年の人間とは違い、猫の寿命はせいぜい十数年。

光太郎は彼女と友達になりたいと全力で疾走しますが・・・

転校生の黒い化け猫や元人間の白猫など、個性豊かな登場人物(猫?)も現れる青春ファンタジーです。



『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。』

川上和人／著 新潮社 (488.04/カ)

なんて香ばしいタイトル！果たして鳥類学者は、鳥が好きなの？嫌いなの？そもそも鳥類学者って何する人？どうやってなるの？なんて想像があれこれ広がります。

そして、ページを開けば、鳥の採血が好きだと宣い、某丸チョコの鳥についてじっくり観察するオタタ鳥類学者の姿。挿絵に添えられた一言に至るまで、面白くないページを探すのが困難な1冊です。



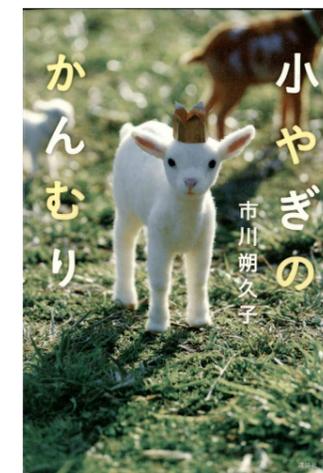
『小やぎのかんむり』

市川朔久子／著 講談社 (児913/巾)

表紙のかわいいやぎの写真に魅(ひ)かれました！

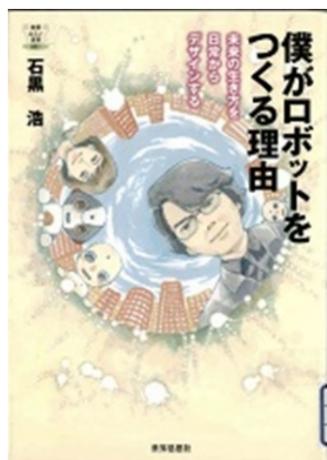
中学3年の夏芽は、夏休みに田舎の山寺で企画された「サマーキャンプ」に参加します。そこで出会った人たちと3匹のやぎ達との日々は、夏芽をどう成長させてくれたのでしょうか。心がぎゅーっとなるテーマを扱っていますが、キャンプを終えて夏芽が持ち帰ったものとは？

ティーンズの皆さんはもちろん、大人にも読んでほしい1冊です。



『僕がロボットをつくる理由』

石黒浩／著  
世界思想社  
(114.2/1)



皆さんは、ドラえもんが本当にいたらなあ〜と、思ったことはありませんか？

この本の作者は、自分そっくりなアンドロイドを造った大学教授です。最近ではペット型ロボットも珍しくありませんが、さらに近い将来、アンドロイドが自分の相棒となる日がくるのでしょうか？

ロボット世界の話だけでなく、身近なテーマから自分の将来の目指し方の参考にもなる本です。



「忠犬ハチ公は東京以外にもいた！」この本は全国各地の犬像を紹介したものです。その中には、主人公をかばって交通事故で足を失った「盲導犬サーブ」や、桃太郎の家来の犬など様々な「忠犬」が登場します。読んでいて思うのは、日本犬が殆どということでしょうか。神社の狛犬もいくつかあり、なかなか面白いです。人間への限りない忠誠心の表れが全国的な広がりにつながったのでしょうか。リアルな犬もいいですが、こちらの犬もおすすめです。機会があったら訪れたいですね。

『全国の犬像をめぐる ～忠犬物語45話～』  
青柳健二／著 青弓社 (645.6/ア)

僕の相棒、私の友達  
動物、ペットにまつわる本

- 紹介作品(50音順) ■
- アルジャーノンに花束を
- 小やぎのかんむり
- 全国の犬像をめぐる
- 鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。
- 猫町くんと猫と黒猫
- 僕がロボットをつくる理由

2021 秋